

# 小型温湿度記録計を使ったりんご黒星病の感染危険度の判定方法

りんご黒星病の感染は、気温と葉の濡れ継続時間が重要な条件となります。今回、小型温湿度記録計で気温と湿度を測定し、湿度データから濡れ継続時間を推測することにより黒星病感染危険度を判定する方法を確立したので、紹介します。

## 用意するもの

- ① 小型温湿度記録計（参考機種：「おんどり」RTR-507SL）
- ② 小型温湿度記録計に対応したデータ収集機（参考機種：RTR-500DC）
- ③ 表計算ソフト「エクセル」がインストールされたパソコン
- ④ 黒星病感染危険度計算ファイル  
(希望団体に青森県農林水産部りんご果樹課より配布します。)



## 設置前の準備

1. 小型温湿度記録計の登録と設定
  - ① 小型温湿度記録計とデータ収集機はデータ通信できるように、パソコン上で登録します。
  - ② 小型温湿度記録計に1時間ごとの気温と湿度が記録されるように設定します。
2. 温湿度センサーの保護（防水でないセンサー部分を降雨から守ります。）
  - ① 塩化ビニル製のT字管全体にアルミテープを貼り、両側の穴に農業用不織布を貼ります。
  - ② センサーの根元部分を切れ目を入れたスポンジで挟み、T字管の下の穴から入れます。
  - ③ センサーとスポンジをT字管内に収め、ビニールテープで穴をふさぎます。



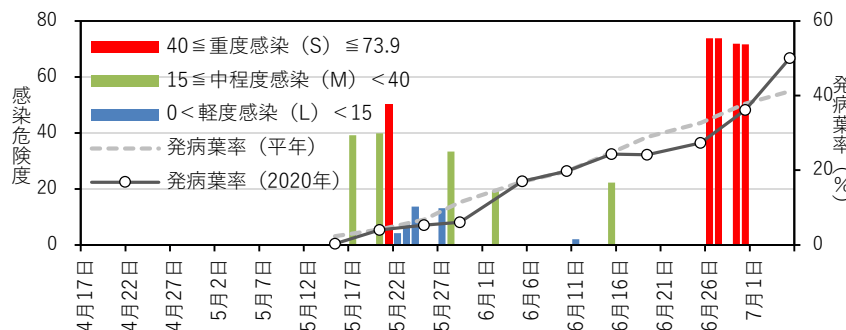
## 小型温湿度記録計の設置とデータ入力

- ① 小型温湿度記録計にワイヤーなどを通し、りんご樹冠下に目通りの高さで設置します。



## 感染危険度の判定結果（2020年）

2020年は、5月中下旬と6月下旬にまとまった感染があり、感染後の6月上旬と7月上旬に、発病が大きく増加しました。



- ② 測定されたデータをパソコンに保存し、黒星病感染危険度計算ファイルに入力します。

※本方法は、千葉県ナン病害防除支援情報システム「梨病害防除ナビゲーション」を基に、農研機構農業技術革新工学研究センターの協力を得て作成しました。